

医薬品提供体制に関わる薬局・薬剤師の課題

やまもと のぶお
山本 信夫

公益社団法人 日本薬剤師会 会長



近年、薬剤師や薬局を取り巻く環境の変化や社会からの指摘は、これまで以上に厳しいものがある。一方で、超高齢社会を目前にして、薬剤師・薬局に対する地域社会からの期待は大きいものがあると感じている。とりわけ、2020年に我が国で初めて新型コロナ感染患者が確認されて以降、国民に対する行動規制が敷かれる中、感染者に対する治療薬等の提供のみならず、一般診療を受ける患者に対する調剤薬の提供、地域住民に対するOTC医薬品の提供等、感染防御に努めながら切れ目のない医薬品提供体制を維持してきた。こうした緊急時における適切な対応が、これまで地域において地道な努力を積み重ねてきたことと相まって、改めて薬剤師・薬局の存在感が発揮できたものと考えている。薬剤師・薬局の基本的な役割は、「地域に医薬品を適切に過不足なく提供し、適正に使用されるよう、医薬品供給体制を構築する」ことにある。今回の感染症パンデミックという非常時の経験を踏まえて、「地域への医薬品提供体制に関わる課題」について考えてみたい。

略歴

1973年 3月	東京薬科大学卒業
2016年 3月	薬学博士(昭和薬科大学)
1981年 4月～現在	(株)保生堂薬局入局
2005年 9月	厚生労働省 中央社会保険医療協議会 委員
2006年 9月	アジア薬剤師会連合 (FAPA) 副会長
2007年 2月	厚生労働省 社会保障審議会 臨時委員
2007年10月～現在	FIP/WHO西太平洋地区薬学フォーラム 理事
2013年 4月	公益社団法人東京都薬剤師会 会長
2014年 6月～現在	公益社団法人日本薬剤師会 会長～現在
2014年 6月～現在	薬学教育協議会 理事
2014年 7月	厚生労働省 医道審議会 委員
2014年 9月	国際薬剤師・薬学連合 (FIP) 副会長
2015年 9月～現在	FIP Foundation for Education and Reserch 理事
2015年 9月～現在	内閣府 防災推進国民会議 議員
現在に至る	